

社会教育だより

令和3年
(2021年)
2月号 No.93



心のごはん

「一人一学習」「一人一健康」「一人一奉仕」をめざして

徳之島町教育委員会
社会教育課

TEL 0997-82-2904
FAX 0997-82-2905

新しい学びのカタチ ～生涯学習県民大学講座～

かごしま県民大学中央センターと市町村が連携し、県内各地で「生涯学習県民大学講座」を行っています。徳之島町では「早寝・早起き・朝ご飯シリーズ」として2日間の講座を計画しており、うち1日は昨年10月に実施済、もう1日は1月に実施しました。



生涯学習イメージ
キャラクター
「マナビイ」

【早寝・早起き・朝ご飯シリーズ】インターネットとの上手な関わり方(1月24日)

講師:かごしま県民大学中央センター 坂元 一善 指導主事

講師は来島せずオンラインで実施。インターネット(ネット)上での会議などに使われる「Zoom」を活用し、講師、生涯学習センター(中継会場)、参加者の自宅等をつなぎました。今回、家族で自宅から参加した方からは「少人数で身近に話を聞く事が出来て良かった」との声が寄せられました。

大人の皆さんへ。ご自身がネットを上手に活用するために、また、子どもたちがネットと上手に関わっていけるように、知ってほしいことがあります。

大人よりも物事の経験が少ない子どもたちが、ネット上の問題を「自分のこと」として自覚できるように伝えてあげてください。

ケータイ・スマホの家庭内ルールづくりのポイント

- (1)なぜそのルールが必要かを考えさせる
- (2)ルールの中の曖昧さを考えさせる
- (3)ルールを守らせるための工夫を考えさせる
- (4)「タイムマネジメント」の発想で自律を促す



- ☐ ルールの例「ネットでは友だちの悪口を書かない」「相手の嫌なことをしない」
⇒なぜ悪口を書いてはいけないのか? 何が嫌なことなのか? 子どもにも考えさせる。
⇒「嫌なこと」はひとによって違う(場合がある)。

例:話をしている時にスマホをさわることが「嫌」なひとにも「気にならない」ひとがいる。
⇒文字だけではニュアンスが伝わらない(場合がある)。

「おもしろいね 😊」「おもしろいね 😏」

- ☐ ルールの例「夜遅くに連絡をしない」「スマホを使いすぎない」 ⇒曖昧さをハッキリ

☐ タイムマネジメント

①やるべきこと・やりたいことを書き出して	宿題	お手伝い	学校の準備	ゲーム
②どれくらいの時間でできるのか予想して	60分	30分	30分	60分
③取り組む順番を考えてみる	最初	3番目	2番目	最後

SNS東京ノート

静岡大学 カスペルスキー

講師が紹介した教材はインターネット上で公開されています。

公民館講座ご紹介

今年度の公民館講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、マスク着用、アルコール消毒、受講生を2グループに分けた少人数開催など、安全対策を行ったうえで実施いたしました。また、毎年1月の「生涯学習フェア」で公民館講座の成果を発表していますが、今年度は中止となりました。

それぞれの講座の活動は、町公式サイトで紹介していますのでご覧ください。



左：さわやか整体
中：三味線
右：飾る折り紙

図書館 蔵書整理・点検期間

図書館では年に1回、蔵書整理・点検を行っています。この期間中、図書館は休館し、本の貸し出しやハイビスカス号の運行は行いません。休館中の本の返却は、返却ポストや図書館入口の返却箱をお使いください。

貸出期間を過ぎている本につきましては、早めの返却をお願いいたします。

休館：2月15日(月)～26日(金)

島われんきゃの祭典等について

2月14日に開催を予定していた「島われんきゃの祭典」「島口・島唄の祭典」は中止することといたします。

楽しみにしていた皆様におかれましては残念なこととなってしまいましたが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



家庭教育力・地域力UP

大人が変われば → 子どもが変わる
家庭が変われば → 地域が変わる

小学校から保護者のみなさまへ 伝えておきたい大切なしとこと

今年4月に小学校へ入学する児童の保護者の方々に宛てて、小学校の先生たちから、入学に向けた準備や、これからの学校生活で大事なこと、お子さんと向きあううえでの大切なポイントをお聞きしました。

★子どもと一緒に保護者も学ぼう

子どもががんばっていること、つまづいていることを、保護者も一緒に取り組み、見守りをしてあげると、のびしろがある子どもたちはグーンとのびていきます。しっかり向き合ってくださいね。

★メリハリのある子どもへ 大人が良いお手本になろう

時間にルーズな子が増えてきているため、「今」こそ、大人も子どもも、やるときはやる、ぬくときはぬく、をしっかりと、けじめをつけて行動しましょう。

★きちんと目と目を合わせて会話をしましょう。

子どもに話をする時、子どもが話をする時はきちんと目と目を合わせながら会話することで、気持ちは伝わります。

スマホやテレビの画面ばかりを見ながら話さないようにしましょう。